

飼育日誌



(令和5年1月1日～6月30日)

1/6	フタコブラクダ	同居後すぐに福みか幸♀の後肢と背中を噛む。
1/8		猛獣舎ボイラー：一部故障 ライオン側停止
1/12	ベニコゴウインコ	巣箱に1卵有り。(6卵目)
1/21	アフリカゾウ	ジェットヒーター試運転。
1/28	アビシニアコロブス	レイア♀ 妊娠か?腹部やや膨らむ。
2/2	キリン	リンリン♀ パドックオープン放飼中滑って転倒。すぐに起き上がる。
	フタコブラクダ	幸 Bw142kg (前回1/4(121.7kg)から+20.3kg) (第2ペア) 17時頃、モニターにて1卵産卵しているのを確認する。
2/6	ニホンイヌワシ	
2/19	キリン	リンリン♀ 血圧測定実施(成功)
2/21	サル山	一週間前頃から園内に居た野生の親子サルの親♀と思われる死骸がサル山内にあり。
2/27	クマ	ルビー♀ 冬ごもり確認。頭を上げる。水補給。
2/28	ニホンコウノトリ	1卵目産卵。
3/1	マーコール	3カ月ぶりに♂♀同居。 カイン♂:ナッシー♂から攻撃されるため床面から上がれない状態。しばらくケージ内に隔離して経過観察。尾の先端皮膚欠損部、イソジン消毒。
	エリマキキツネザル	
3/6	シバヤギ	丞武♂ 起立補助、歩行不可。
3/8	ツキノワグマ	室内糞出し消毒。
3/15	ケツメリクガメ	窓の断熱材両面撤去。
3/18	ニホンイヌワシ	西目♀ 抱卵安定せず採卵(孵化しない1卵と交換)。西目の卵2卵をたつ子ペアに移入する。
3/22	マーコール	交尾確認。
3/24	アムールトラ	シュウ♂ 展示訓練開始。
3/25	ニホンイヌワシ	(第1ペア) 午後1卵、嘴打ちと思われる様子あり。
	キリン	体重測定。
3/28	ニホンイヌワシ	第1ペア:雛の位置が悪いため入室して巣材を整えた。2羽目の雛を第2ペアへ移動
	トナカイ	しなの♀ 右角落角。両角落角完了。
3/29	ジャンボウサギ	子4頭完全に開眼し、クローバーの採食も確認(生後17日目)
4/4	フンボルトペンギン	室内巣Aヒナ 時折、親の腹下から出てきて行動する。
4/8	キリン	恵太♂ 角当て活発化。
	アムールトラ	シュウ♂ 展示訓練。
4/11	シバヤギ	広場内に角が落ちていた。個体不明。
4/13	カナダヤマアラシ	換毛始まる。
4/20	アフリカゾウ	リリー♀ 横臥睡眠無く周回行動のみで落ち着きなし。
4/22	アフリカゾウ	直腸輸液練習嫌がる。

4/25	アカカンガルー	♀2頭(みかん、ジェラート)を♂群に移動。
	ライオン	ローア♀ 両大腿部の床擦れの発赤が目立ち、歩き方がぎこちない。爪の過長?
4/27	フラミンゴ	終日放飼。
	ブレイリードッグ	仔4頭開眼。
4/28	ブレイリードッグ	親子寝室目隠し外す。
4/29	ブレイリードッグ	ルーク♂ タヌキ展示場に落下。
5/4	カナダヤマアラシ	交尾行動取るが拒否される。
5/5	ミニブタ	午前中てんかん発作4～5分続く
5/8	ニホンコウノトリ	擬卵撤去、巣板設置。
5/9	アムールトラ	シュウ♂ 展示訓練再開。
5/10	マーコール	ゆべし♀ 削蹄。
5/16	チンパンジー	ジェーン♀ 右足先かなり腫れている。
5/19	フンボルトペンギン	右紫青黄(1才):トローバン挿入。外巢⑥擬卵回収。
5/26	フンボルトペンギン	(3/24生まれ):巣立ち。63日齢
5/27	ニホンイヌワシ	(第2ペア)第2ヒナ巣から飛び出す。
5/28	フンボルトペンギン	(3/22生まれ):67日齢で巣立ち
6/1	ブレイリードッグ	仔4頭の性別チェック ♀3,♀1
	フンボルトペンギン	若齢個体:翼帯取付。
6/2	フタコブラクダ	幸♀ 両前肢球節過伸長、トレーニング開始し、採血やバンテージ処置できるようにする。
6/3	アカカンガルー	スミス♂×みかん♀交尾確認。
	トナカイ	ルミ♀ 午後5分ほど仔の授乳確認。牛初乳用粉ミルクの哺乳開始。
6/4	アカコングウインコ	メレブ♀ 嘴整形実施。
6/5	ユキヒョウ	ヒカリ♀ 展示場内に入り込んだヒヨドリを捕食。
6/6	ニホンイヌワシ	保全棟風除け除去。イヌワシ(第1ペア)鳥インフルエンザ網一部除去。
6/8	トナカイ	親子展示訓練(初日) トナカイの仔命名:雨瑠(ウル)
6/11	ユキヒョウ	アサヒ♀ トレーニング下においてワクチン接種実施。
	オカメインコ	嘴根元に腫瘍あり。
6/12	ラマ	アンナ♀ ヒロ♂との唾の吐き合い後休息。夕方給餌後はZC・Mazuri採食確認。
6/13	タンチョウ	八角ツル舎(タンチョウ)防鳥ネットはずし。
	ニホンイヌワシ	(第1ヒナ)79日齢で巣立ち確認。
6/14	マナヅル	八角ツル舎(マナヅル)防鳥ネット外し。
6/15	キョン	ノゾム♂ 落角。
6/16	ニホンイヌワシ	(展示場ヒナ)巣台に戻る。
6/17	ヒツジ	毛刈り実施。
6/18	ライオン	マンゴー♀ 採食不良。抗生剤投与(吹き矢)
6/19	カリフォルニアアシカ	アイラ♀の発情兆候を確認→観察下での同居、交尾確認、分離まで完了。
6/20	ジャンボウサギ	性別チェック(♂1♀3)
	ニホンコウノトリ	産卵確認。卵と巣材撤去。

お客さまの声

- 家族みんな動物大好きで、コロナに注意しながら去年行きました。今年はコロナを気に3/19しないで、イベントにたくさん参加する予定です♪ 娘の将来の夢が、飼育員なので動物だけでなく飼育員さんのことも見て、勉強していました。
- 4/1 サル舎は、中からも外からも展示を楽しめました。ガラスもきれいな上に、建物がお洒落でした。
- 5/11 まんまタイムや解説、とても身になりました。動物園に来たからこそこの体験ができて満足です!
- 5/21 子ども(3才)がチンパンジーが大好きで毎週来ています!色々な表情をみせてくれるチンパンジーがとってもかわいいです。
- 6/4 もう園に来るようになって十数年…いつも変わらず楽しませてもらっています。これから楽しい園であり続けて下さい。
- 6/9 子どもがまだ小さい時に来たきりだったが、ものすごく変わっていて楽しかった!!また来たい。結構ふれあえたり、すごく近くで見られたりして良かった!!

かたばた通信

記念誌発行のため50年の歩みを振り返ると、さまざま人や動物たちが動物園を支え、今に繋がっているのだと改めて実感しました。

また、これまでも動物園を取り巻く環境や施設の変化などはありませんでしたが、来園者を楽しませたいという職員思いは開園当初から変わっていないように思います。限られた誌面の中で50年分の歴史は伝えきれない部分もありますが、少しでもその思いが伝わっていたら嬉しいです。

この先、どのような未来が待っているかわかりませんが、大森山動物園がより多くの人に愛される動物園であり続けることを願います。(保坂)

発行/秋田市大森山動物園

〒010-1654 秋田市浜田字湯端154番地 TEL 018-828-5508 FAX 018-828-5509
E-mail ro-inzo@city.akita.lg.jp デザイン・印刷/秋田活版印刷株式会社

●動物取扱業者 秋田市長 穂積 志 ●事業所及び所在地 秋田市大森山動物園 秋田市浜田字湯端154番地
●登録に係る動物取扱業の種別/販売:動-3-41 貸出し:動-3-42 展示:動-3-43
●登録の年月日/2007年6月1日 ●有効期間の末日/2027年7月31日 ●動物取扱責任者/山上 昇 高橋 拓

大森山動物園

検索

<https://www.city.akita.lg.jp/zoo/index.html>